

テーマ

僕たちは差別の中で生きていく

発行日

8月10日

発行著(氏名)

王子第三  
小学校  
第6学年  
児童

I このテーマの記事を選んだ理由を書いてください。

毎日のようにテレビから「コロナ」のニュースが流れている。僕たちはこの「コロナ」のせいで、色々かたことを我慢している。そして八月になると必ずニュースになる「戦争・終戦」。この病気と戦争は関係ないように思えたけれど、新聞を「読んで差別」という言葉でつながっていることが分かった。「昔の戦争と今のコロナの差別は違うのか、同じか」が考えてみたいと思っ、このテーマにした。

II 比べる記事のそれぞれの内容について分かったことを書いてください。

①について 長崎で被爆した富田さんの受けた差別の話。郊外に避難し、優しい民家で水をもらっていたとお願ひしたら「街から来た人はハイキングをもうている」と水をもらえなかった。被爆者だとおかると糸女も断られる。こうした自分の経験を小学校などで話して、このようないことがあてはいけないと伝えている。

②について ネット社会での感染者狩りの話。感染者をSNSやネット掲示板で特定していく。初めは「〇〇地域で感染者が出た」という事実。そこから入院した病院と個人名と住所と感染者の個人情報が出流される。その後には感染者の悪口だ。他人が予則と悪口だけを個人を攻撃する。①と②を比べて分かったこと、自分で調べてみたいこと。この二つの共通点は「原因は自分のせいではない」ということだ。被爆した富田さんのせいではないし、コロナにかかったのもそうだ。普通生活を送っていただけなのになぜ差別はおこるのかまた昨日と今の差別の違いはあるか調べたい。

III テーマについて、自分の考えや他の人と交流をして気付いたこと、調べたこと、提案などを書いてください。

差別はこうしておきるのだろうか。人を攻撃して何になるのだろうか。コロナ感染者も、戦争もその人自身のせいではないということはみんな分かっているはずだ。昔はインターネットがなかったから差別の口から「〇〇あす」という形で伝えた。人のつちも七十五回というし、時間がたてば消えていたかもしれない。でも今はネット社会だ。日本だけではなく世界中に情報があつ、という間に広まり、それは永遠にネット上に残ってしまう。自分が消去するには不可能に近いと授業で習った。じゃあ僕は差別をしていないのかしたことがないのか、考えてみた。スーパーに行くと桃が食下たいから買おうと思っ、けれど福島産のものは自然に避けている。福島第一原発の事故で放射能の事も習ったから、これは明らか「差別」だ。こう考えると、差別はなくなる世界は永遠に来ないと思っ、つども僕は自分の中の差別は無くせる。それがたった一つの僕に出来る「差別対策」なのだ。